

**要 リウキュウマメガキ**



山地の日当たりのよい谷や斜面に生える木です。新しい枝にうす黄色の花をつけ、秋には橙色から黒紫色の2cmほどの果実が熟しますが、渋いです。

**要 カワヂシャ**



川岸や水路わきなどに生える高さ80cmほどの草です。5～6月に白やうす紫色の花をつけます。外来種のオオカワジシャは紫色の花をつけます。

**要 コヤブラン**



林の下に生えます。高さ20～40cmで、地面をはう茎で広がります。7～9月にうす紫色の花をまばらにつけます。果実が熟すと黒色になります。

**要 ヒナザサ**



湿地に生える高さ5～20cmほどの小さな草です。茎は地面をはって枝分かれし、先端は立ち上がります。8～10月、その先に目立たない花をつけます。

**要 ハチジョウススキ**



海岸の草地に生えます。高さ1.5～2mで、ススキに比べて茎は太く、葉の幅も広く、葉の縁はざらつきません。秋にススキに似た花をつけます。

**要 シオクグ**



塩水の出入りする海岸や河口の湿地などに生えます。高さ30～60cmで、葉は幅1.5～3mmと細く、4～7月に目立たない花をつけ、果実となります。

**今 ハマハナヤスリ**



日当たりのよい砂地や草地、河原などに生える高さ7～20cmほどのシダ植物です。4～11月に見られます。胞子をつける葉を別に出します。

**今 オオイタビ**



林の縁などに生えるつる植物です。枝から根を出して、木の幹や岩にはりつきます。秋にイチジクのような紫色の実(果のう)をつけます。

**今 サイコクヌカボ**



湿地や田んぼのあとなどに生える草丈50cmほどのタデの仲間です。たくさん枝分かれして茎の下の方は地面をはいます。夏から秋にかけて小さな花をつけます。

**今 ジュンサイ**



ため池などに生える水草で、楕円形の葉を水面に浮かばせます。夏に暗い赤色の1.5cmほどの目立たない花をつけます。芽はゼリー状で食用になります。

**今 ヒツジグサ**



池や沼に生える水草で、葉や花を水面に浮かばせます。夏の昼間にスイレンに似た白い美しい花を咲かせます。未の刻(午後1～3時)に咲くことが名前の由来です。

**今 ミソナオシ**



林の縁や道ばたに生えます。葉は3枚セットで、夏から秋にうす黄色のハギに似た花をつけます。豆の形をした実にはかぎのような毛があり、服にくっつきます。

## 明石市の大切にしたい生きもの ～明石市レッドリスト～ とは？

「明石市の大切にしたい生きもの ～明石市レッドリスト～」は、明石市にいる生きものうち、すみかがなくなったり数が減ったりして、このままでは明石市からいなくなってしまうかもしれない種、または前に明石市にいましたが、今は見られなくなっている種をリストにしたものです。

どのような生きものがどれくらい減っているのかがわかるよう、リストの生きものは次の4つのカテゴリーに分けています。

カテゴリー	説明
A	特に減っている種。明石市で数が特に少ない種、または生息・生育環境が悪くなっていて、その環境を守らなければならない種。
B	減っている種。明石市で数が少ない種、減ってきている種、またはよい自然環境の目安になる種で、その環境を守りたい種。
要調査	情報が十分になく判断が難しい種。
今見られない	明石市にはいたが、今は見られない種。

※説明はやさしい文章に書きかえています。またカテゴリーの順序を入れかえています。正式な定義、順序は明石市ホームページをごらんください。

明石市でこれまでに  
見つかった生きものの  
11%にあたる277種が  
選ばれています。



分類群	A	B	要調査	今見られない	合計
哺乳類	2	3			5
鳥類	11	21	17		49
爬虫類	2	2			4
両生類	4	1			5
魚類	4	12	1		17
昆虫類	9	23	46	3	81
植物	31	59	11	15	116
合計	63	121	75	18	277

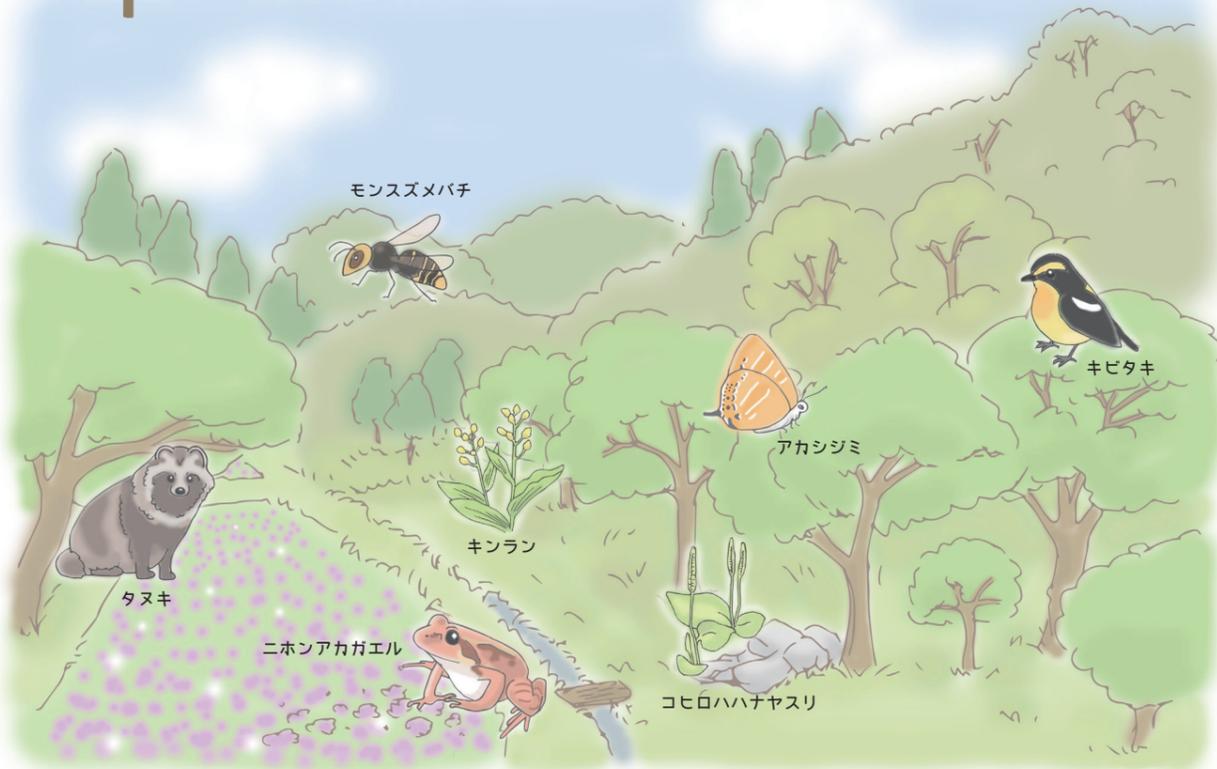
## 明石市の環境と生きもの

たくさんの方がくらす明石市。生きものにとって大切な環境は、どのような場所でしょうか。また、そこにはどのような生きものがいるのでしょうか。



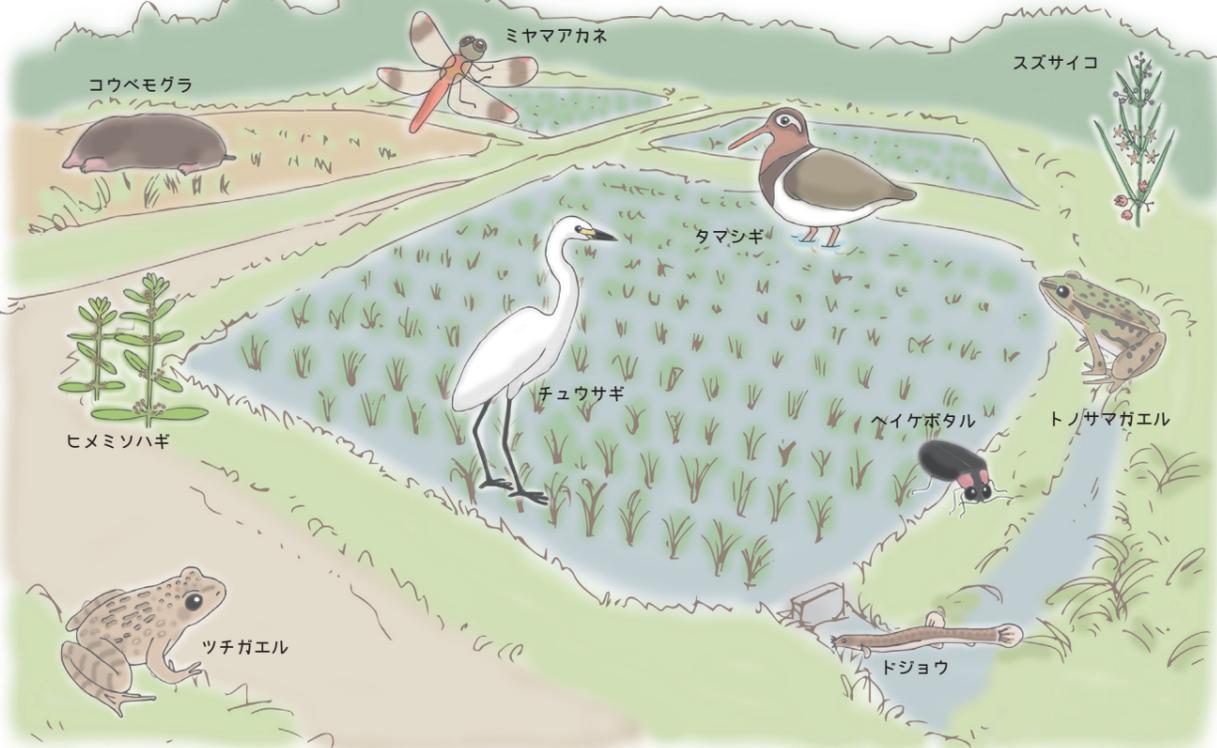
# 里山林

明石市には高い山や広い山地はありませんが、おおくぼまつがけ大久保町松陰・松陰新田には、まとまった里山林がのこ残されています。里山林は、じゆりん樹林にくらす生きものはもちろん、しゅうへん周辺のため池・しつち湿地や水田と林を行き来して生活する生きものにとっても、か欠かせない場所になっています。



# のうこうち 農耕地

しがいち市街地の多い明石市ですが、ちいき西部地域には水田や畑などの農耕地が見られます。田んぼにくらすカエルやトンボ、水路にすむメダカやドジョウ、それらを食べる鳥、あや畦のような明るい草地に生える植物など、はぐく農耕地は多くの生きものを育んでいます。田んぼや畑がなくなると、これらの身近な生きものも姿を消してしまいます。



## B コマツカサススキ



日当たりのよい湿地やため池の畔に生えます。高さ80~120cmで、茎の断面は三角形で葉は細長く、8~10月に丸く集まった花をつけ、その後には果実となります。

## B ケシンジュガヤ



日当たりのよい湿原に生える高さ10~20cmの小さな草です。7~10月に茎に2~3個のうす灰色の目立たない花をつけます。葉や茎に毛があります。

## B マネキシングヤ



日当たりのよい湿地や湿原に生える高さ10~30cmの草で、7~10月に茎に2~3個のうす灰色の目立たない花をつけます。葉や茎に毛がありません。

## B ギンラン



林の地面に生える高さ20~40cmのランの仲間です。葉を3~6枚出し、5~6月に茎の先に半分開いた形の数個の白い花をつけます。

## B シュンラン



少し乾いた林に生えるランの仲間です。葉は長さ20~35cm、幅0.6~1cmで、3~4月に高さ20cmほどの茎の先にうす黄緑色の花を1個つけます。

## B カキラン



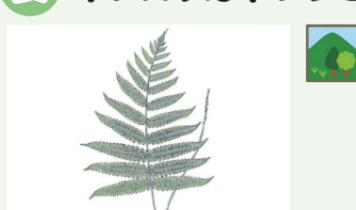
日当たりのよい湿地に生える高さ30~70cmのランの仲間です。長さ7~12cmの葉をつけ、6~8月に茎の上の方にうす橙色の花を10個ほどつけます。

## B コクラン



暗い林の地面に生える高さ15~30cmのランの仲間です。葉は楕円形で、先はとがります。6~7月に暗い紫色の花を5~10個つけます。

## 要 イワハリガネワラビ



川沿いの岩の上や岩壁に生える高さ30~60cmほどになるシダ植物です。軸の左右に細長い葉がつき、全体は長さ25~40cmの三角形の葉となります。

## 要 ナチシケシダ



湿った草地や林の縁などに生え、高さ1mほどになるシダ植物です。軸の左右に細長い葉がつき、全体は長さ10~50cmの細長い三角形の葉となります。

## 要 マツグミ



アカマツやモミなどの枝や幹に生え、水や栄養を分けてもらいながら育つ植物です。7~8月に赤色の小さな花をつけます。果実は丸く、秋に赤く熟します。

## 要 イスノキ



高さ20mになる木です。葉は長さ5cmほどで、虫こぶ(虫が寄生して葉の表面にできた小さなこぶ)がついていることが多いです。3~5月に目立たない花をつけます。

## 要 ハマウド



海岸に生える高さ1~1.5mの草です。茎は上のほうで枝分かれして、光沢のある葉をつけます。4~6月に白い小さな花が集まった花をつけます。